

会議録

会議の名称	令和6年度第1回弘前市健康づくり推進審議会
開催年月日	令和6年5月29日（水）
開始・終了時刻	午後1時30分から午後3時12分まで
開催場所	弘前総合保健センター4階 視聴覚室
議長等の氏名	弘前市健康づくり推進審議会 会長 井原一成
出席者 (15名)	学識経験のある者：委員 井原一成 委員 古川照美 保健・医療関係者：委員 澤田美彦 委員 石岡隆弘 委員 磯木雄之輔 委員 佐藤史枝 公共的団体の推薦：委員 福島龍之 委員 斎藤明子 委員 八木橋喜代治 委員 成田津江 委員 藪谷育男 委員 三上美知子 関係行政機関の職員：委員 斎藤和子 公募委員：委員 阿保ひとみ 委員 野上由芳
欠席者 (なし)	
事務局職員の職・氏名 (17名)	健康こども部長：佐伯尚幸、健康増進課長：川田哲也 健康増進課参事兼統括保健師：佐藤美加 健康増進課長補佐：工藤孝幸、三上淨子 健康増進課主幹：斎藤恒夫、澤居吏香子、佐藤康行、今敏行 健康増進課総括主査：長尾厚子、尾崎弘子、進藤明良 健康増進課主任管理栄養士：小山内さとみ 健康増進課主査：對馬佳津子 健康増進課保健師：山口貴史 健康増進課主事：安達拓耶 会計年度任用職員：成田美奈子
会議の議題	(1) 弘前市健康増進計画「第3次健康ひろさき21」素案の変更について（審議） (2) 弘前市健康づくり表彰被表彰候補者について（審議） (3) その他 ①令和4年人口動態調査結果（弘前市の概要）速報について（報告） ②第2期弘前市自殺対策計画について（報告） ③その他
会議結果	下記会議内容に記載のとおり

会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度第1回弘前市健康づくり推進審議会次第 ・弘前市健康づくり推進審議会委員名簿 ・資料1-① 弘前市健康増進計画「第3次健康ひろさき21(素案)」 ・資料1-② 弘前市健康増進計画「第3次健康ひろさき21(素案)」の変更について ・資料1-③ パブリックコメントの結果について ・資料2-① 弘前市健康づくり表彰被表彰候補者 審査チェックリスト ・資料2-② 弘前市健康づくり表彰応募者一覧 ・資料3 令和4年人口動態調査結果(弘前市の概要)速報(会議終了後回収) ・資料4 令和5年度保健活動・予防事業概要(令和4年度実績) ・資料5-① 第2期弘前市自殺対策計画 ・資料5-② 第2期弘前市自殺対策計画【概要版】
会議内容	<p>【次第】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 会長挨拶 4 事務局職員紹介 5 案件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 弘前市健康増進計画「第3次健康ひろさき21(素案)」の変更について(審議) (2) 弘前市健康づくり表彰被表彰候補者について(審議) (3) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①令和4年人口動態調査結果(弘前市の概要)速報について(報告)(非公開) ②第2期弘前市自殺対策計画について(報告) ③その他 6 弘前市健康こども部長挨拶 7 閉会 <hr/> <p>【1 開会】</p> <p>【2 委嘱状交付】</p> <p>【3 会長挨拶】</p>

【4 事務局職員紹介】

【5 案件】

(1) 弘前市健康増進計画「第3次健康ひろさき21」の変更について

(事務局)

資料1 説明

(委員)

飲酒に関して、弘前市が、厚生労働省の定めた「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン」に準じて内容を見直しするのは、何となく私から見ると曖昧に感じたところ。

飲酒に関しては、以前は飲み過ぎはよくないが、少し飲んだ方が全く飲まないより健康に良いといわれることもあったが、今回のガイドラインでは、全く飲まない方が健康に良いとされている。これは世界的にもここ数年、そうなってきてているところ。

もしも、今回、「適度な量」という言葉を使わないのであれば、例えば、世界的な解釈として今はアルコールは良くない。たばこと同じ。ちょっと飲むのは良いことだとか、そういう意味ではなくてもっと進んで、やはりアルコールは良くないんだと。弘前市としても、アルコールは健康にはマイナスなので、飲まない方がいい、ということを、弘前市として踏み込んではどうか。それからもう1つは、以前はちょっとお酒を飲んだ方がいいという考え方があったが、今お酒を飲まないのであれば、飲み始める必要はない。それから、もしも今飲んでいるのであれば、飲む量は控えるべきだと。こういうふうに、はつきりと踏み込んだらどうかと、考えたところ。

(事務局)

確かに飲まない人に対して、ちょっと飲んだ方が良いということではないとは考えている。市として今回国とのガイドラインに沿う形で変更しようという背景には、アルコールは健康に良くないというような考え方があって、今回変更しようということにしたので、考え方としてはその様にしていきたいが、委員としては、この計画の中の文言として、今の状態の表現ではな

くて、もう少し具体的に記載したほうが良いというご意見ととらえてよろしいか。

(委員)

はい。

(事務局)

その件については、文言の修正の可否について再度検討したい。

(委員)

私はお酒を全く飲まないし、たばこももちろん吸わないけれども、この計画で言っているのは、健康のために飲まない方がいいと言っているだけで、飲むなと言っているわけでもないし、国も市も強制できるものではないということを前提に考えなければならないのではないか。飲まない方が健康にいいよ、吸わない方が健康にいいよという、そういう意思がある程度しっかりと伝わらないと、ただ文言だけで健康に悪いから飲酒するなというのでは、また少し違うと思う。市内には酒造業者や飲食業者など関係事業者が多くいるので、そこは慎重に検討していただきたい。自分の健康を守るために自分で考えて、自分で節制してくださいというのが、市の健康増進の目的だと思うので、あまり強制的な文言を使ってしまうのは、少し違うのではないかと考える。

(会長)

これらの意見は、市の方で一度検討するということによろしいか。

(各委員)

同意あり。

(会長)

では、事務局には再検討をお願いする。

(委員)

15 ページの図 14 の全国の平均寿命と日常生活動作が自立している期間の差の凡例のところ、両方青色になっているが、全国の方は灰色だと思う。

また、平均寿命と健康寿命について、15ページでは女性の平均寿命と健康寿命の差が弘前市の場合は6年となっている。一方、17ページの表3では、その差が3年となっている。何となく感覚として見ると17ページの方が妥当だと感じたところ。再度調べてもらいたい。

(委員)

29ページの目標実現に向けた取組のところで、市民の取組・次世代期の減塩についての取組として、「減塩を心がけ、薄味に慣れるようにします」とあるが、次世代期に関しては、「薄味に慣れるために減塩する」とする方が良いのではないかと思った。青・壮年期や高齢期の場合は、「減塩に心がけ、薄味に慣れる」でいいと思うが、次世代期の人には「薄味に慣れるようにならう、そのため減塩しましょう」と言った方が良いのではないかと感じた。

(事務局)

各委員からいただいた意見を踏まえて、再確認させていただきたい。その上で全委員に書面で意見を伺うこととする。

※令和6年7月5日付で委員に修正版を送付し、委員より意見なく了承された。【資料1-①-2】

案件（2） 弘前市健康づくり表彰被表彰候補者について

(事務局)

資料2説明

(委員)

皆さん一生懸命健康について活動しているということで、喜ばしいことだと考えているところ。一点、同一団体が複数回応募することについて、何か規定があるのか。

(事務局)

一度受賞された団体は、次の年度以降は、前回までとは別に新たな取組を始めた場合、また対象になることができると定めている。

(委員)

	<p>応募団体の中に、歯や口腔の健康保持にしっかり取り組まれているところが複数あり、とても良いことなので、これからも継続して取り組んでいただきたい。</p> <p>(会長) 参加者の人数は、実数か、延べ人数か。また、団体の方も含んでいるのか。</p> <p>(事務局) 「地域の部」については、参加者の延べ人数で、団体所属の方は入っていない。</p> <p>(会長) いずれの応募団体もすばらしい活動をしていると思うので、事務局案のとおりでいかがか。</p> <p>(各委員) (了承あり)</p> <p>(事務局) ありがとうございます。応募団体すべて表彰するということで了承いただいたことを報告し市として最終決定する。</p> <p>案件（3） その他</p> <p>① 令和4年人口動態調査結果（弘前市の概要）速報について (非公開)</p> <p>② 第2期弘前市自殺対策計画について</p> <p>(事務局) 資料5を説明。</p> <p>(会長) この計画のホームページなどでの周知は考えているのか。</p> <p>(事務局)</p>
--	--

	<p>ホームページには、3月末時点で掲載している。広報ひろさきについては、掲載手続を進めている。掲載時期は、現時点では未定である。</p> <p>③ その他</p> <p>(会長) せっかくの機会なので、委員から何かないか。</p> <p>(委員) 健康づくりについては、いろいろやることがたくさんあって大変だとは思うが、基本は継続するということが非常に大事なので、新たにいろいろなことをするよりは、長くきちんと10年先を見据えて、積み上げていくということが、健康づくりにはとても大切なことなので、そのようなところを皆さんで共有して、イベントではなくて、生活習慣を作るのは積み上げしかないので、この辺をこの先も今まで通り続けていただければと思っている。</p> <p>【6 弘前市健康こども部長挨拶】</p> <p>【7 閉会】</p>
その他必要事項	・案件の(1)、(2)、(3)②・③は公開、(3)①は非公開